

# 福島県海域に成熟したトラフグは出現するのか

福島県水産資源研究所 種苗研究部

## 1 部門名

水産業一種苗研究（開発）—その他魚種（海）

## 2 担当者名

伊藤貴之

## 3 要旨

トラフグ栽培漁業の可能性を検討するため、福島県海域で採捕されたトラフグの成熟度を調査した。精密測定の結果、成熟度を表す GSI の値は低く、成熟した個体はみられなかった（図 1）。また、本県では産卵期とされる時期（3～6 月）におけるトラフグの漁獲量が少なく（図 2）、成熟した親魚を産地市場で入手することは難しいと考えられた。

- (1) 2017～2024 年に測定した 33 個体について、GSI（生殖腺重量/体重×100）を求め、採集日と GSI の関係を、雌雄、体重により区別して解析した。標本数が少ないため、全ての年をまとめて図示した。
- (2) オスの GSI は未成魚（1.3 kg 未満、n=8）で 0.2～5.3、成魚（1.3 kg 以上、n=7）で 1.1～20.9 であった。メスの GSI は未成魚（2.0 kg 未満、n=17）で 0.3～4.8、成魚（2.0 kg 以上、n=1）は 2.7 であった。
- (3) トラフグは産卵期に GSI がオスで最大 32、メスで最大 33 前後になるとされており、今回確認された GSI はこれらの知見より低い値であった。

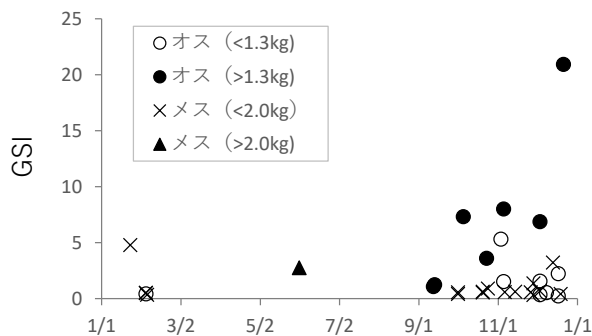


図 1 トラフグ GSI と採集日、雌雄、体重の関係

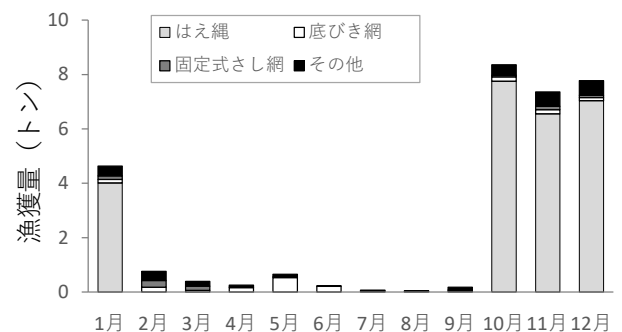


図 2 2023 年のトラフグ月別漁獲量

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3～7 年度
- (2) 研究課題名 栽培漁業対象種の放流技術に関する研究

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 松村靖治, 有明海におけるトラフグ *Takifugu rubripes* 人工種苗の産卵回帰時の放流効果, *Nippon Suisan Gakkaishi*, 72(6), 1029-1028, 2006.